

Inbox

message
messageAdd Sender To Add
Add All To Add

Sendmail Intelligent Inbox™

Sendmail Intelligent Inboxは、ハイパフォーマンスなSieve(シーブ)エンジンをベースに、ISPおよび企業のメールユーザに柔軟で管理が簡単なサーバフィルタリングソリューションを提供します。

送信者、宛先、件名、サイズ、時間などの条件により、保存、転送、通知、削除、不在時自動応答、メールヘッダの編集、ホワイトリスト/ブラックリストの作成などのアクションを設定可能。従来のメーラーによる設定ではなく、サーバ側で設定することにより、すべてのドメインやサイトにわたってフィルタリングを徹底できます。

さらに、ユーザ個人がそれぞれのニーズに合わせて、Webベースの設定画面で簡単にフィルタリングを設定できるため、ユーザの要求を満たしながら組織のポリシーにあわせた柔軟な設定が実現。フィルタリング設定情報はすべて一元管理され、管理者の負荷を軽減します。

オープンなインターフェイスを採用しており、Sendmail Advanced Message Serverのほか、現在お使いのメールシステムや各種グループウェアと簡単に統合できます。

- ハイパフォーマンスなSieveエンジンにより、ISPクラスの高トラフィックにも対応可能な処理能力を提供
- サーバ側でのフィルタリングにより、不要なメールの配送やダウンロードが減少。メールサーバの負荷を低減
- フィルタリング設定は、ユーザと管理者が実行可能
- アンチスパムソリューションと併用し、スパムメールを的確に処理
- ドメイン単位、または、サイト全体に共通のルールを適用でき、各ユーザルールのオーバーライドも可能
- ドメインやサイトを一元管理可能で、システム管理者とユーザの負荷を軽減
- LDAPサーバに全ユーザの設定情報を格納。複製機能により、可用性と信頼性を高め、メールトラフィックの増加にも柔軟に対応。しかもメンテナンスが容易

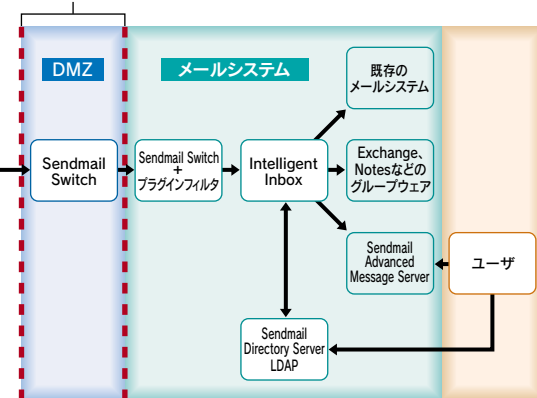
ISPサービスの付加価値を向上

- カスタマイズ可能なGUIにより、利用しやすいオリジナルのフィルタリングサービスを提供可能
- 受信拒否、転送、パケージメールなど既存のメニューに、時間による条件設定やメールヘッダ編集などの機能追加により、さらに高度なサービスを提供可能
- アンチスパムソリューションと組み合わせ、スパムの格付けに基づきユーザの判断で、受信拒否、指定フォルダに保存するなど、確度の高いスパム対策サービスを提供可能
- 既存のメールシステムと簡単に統合可能で、新規サービスの提供が短時間で実現
- 既存のユーザ設定画面との統合が可能

社員の生産性向上

- あらかじめ設定したルールより、受信メールを自動的に指定フォルダに振り分け、社員のメール対応時間を短縮
- 任意の時間に、特定のメールを他のアドレスへ転送または携帯電話へ通知することで、外出や離席時でも大事なメールをタイムリーにチェック可能
- 会社全体、部署ごとに共通のフィルタ設定が可能で、各社員のルールのオーバーライドも可能。「メールのヘッダ情報しか社外のメールアドレスに転送できない」など、情報セキュリティ確保のためのポリシーを徹底可能
- 社内全体でのブラックリスト設定によりメール受信ドメインを絞り込み、明らかにスパムメールを送っている送信者/ドメインからのメール受信を拒否
- 既存のグループウェアなどのシステムを有効活用し、新規サービスの提供を短時間で実現

ファイアウォール



Intelligent Inbox設定 & Sieveエンジン

- Webベースの設定画面上で簡単にフィルタルールを作成。サイト、ドメイン、ユーザごとにフィルタ設定が可能です。また、別の管理者やユーザにフィルタ設定へのアクセスを委任することも可能です。
- 設定画面を使って作成されたルールはSieveエンジンにより処理され、グループウェア、Sendmail Advanced Message Serverなどのメールサーバに配信されます。

Sendmail Directory Server(SDS)

- SDSはSendmail Messaging Directory ServerとSendmail LDAPコンソール(プロビジョニングに使用)を含み、カスタムメール用に最適化されたスキーマと設定を持つスタンダードベースのLDAPv3を提供します。
- ディレクトリ情報は複数のサーバへ複製が可能のため、パフォーマンスと信頼性を高めます。



Sendmail Intelligent Inboxホーム

- 送信者(From)、あて先(To/Cc/Bcc)、件名(Subject)、日付、返信先などすべてのヘッダー情報、サイズ、メッセージ本文、などの条件により、以下のアクションを設定可能
- 時間設定(予約設定した時間に設定したアクションを実行)が可能
- メールサーバ管理者の全体設定に加えて、ユーザの個別設定が可能

アクション	ユーザ側の利用イメージ
指定ホルダーに保存	メールを条件により自動的に整理分類
指定アドレスへ転送 (自宅のPC、携帯、上司・同僚などへ)	休暇中に自宅のPCに転送、重要なものだけ携帯メールにも転送、本社からのメールを自動的に上司・同僚などに転送
携帯メールへ受信を通知	緊急メールの受信を携帯などに通知
自動削除	受け取りたくないメール(受信拒否)を、サーバで自動削除
受信拒否メールを送信者に自動返信	受信拒否メールの削除と同時に、送信者に自動通知
不在時自動応答	仕事関係の相手と、プライベートな相手と、返信メッセージを送り分ける。メーリングリストからのメッセージは応答対象外

	ユーザ 設定	ドメイン 設定	システム 設定
システム 管理者	○	○	○
ドメイン 管理者	○	○	—
ユーザ	○	—	—



メール転送の設定



ブラックリスト/ホワイトリストの設定



不在時自動応答の設定



高度なフィルタリングの設定



スパムハンドリング

スパムメール(迷惑メール)の格付けにより、ユーザがアクションを設定

■ 稼働OS: Red Hat Linux, United Linux, MIRACLE LINUX, Solaris

Sendmailは、Sendmail, Inc.の登録商標です。Sendmail Advanced Message ServerとSendmail Mobile Message Serverは、Sendmail, Inc.の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。